

2023年度 募集要項

募集する専攻および入学定員・募集人員

| 専攻 | 入学定員 | 募集人員 | 修了年限 |
|---------|------|--------------------------|------|
| 社会福祉学専攻 | 10名 | I期 若干名 II期 若干名 } 計10名 | 2年 |
| 福祉心理学専攻 | 10名 | I期 若干名 II期 若干名 } 計10名 | 2年 |

出願資格

- (1) 大学を卒業した方、または2023年3月卒業見込みの方。
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された方、または2023年3月学士の学位を授与される見込みの方。
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方、または2023年3月までに修了見込みの方。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方、または2023年3月までに修了見込みの方。
- (5) わが国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方、または2023年3月修了見込みの方。
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方。
- (7) 文部科学大臣の指定した方。(昭和28年文部省告示第5号)
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した方であって、当該者をその後に入学者とする大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた方。
- (9) 本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方で、入学時22歳に達する方。

【注1】外国の国籍を有する者は、日本学生支援機構が実施する日本留学試験を受験し、「日本語」の成績が200点以上であるか、もしくは日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験を受験し、N2(旧2級)以上に合格している必要があります。

【注2】出願資格(8)(9)によって出願する場合は出願資格審査を行いますので、2022年11月1日までに通信制大学院事務室へご連絡先明記のうえ書面(Eメール可)で照会してください。出願期間は、II期でご出願ください。

出願から入学までの流れ

出願書類の作成

P.20～21を参考に**出願書類**をご準備ください。

入学検定料の準備

(郵便局で「普通為替証書」購入)

入学検定料は「普通為替証書」を郵便局で購入し、**出願書類**に同封してください。

| 金 額 | |
|-------|-----------------------|
| 入学検定料 | 30,000円(本学卒業生15,000円) |

出願書類の提出

下記の出願期間内に書留で郵送してください(同封の本学指定封筒をお使いください)。
(出願先)〒983-8511 仙台市宮城野区榴岡2-5-26-3階 ※現在入構制限中
東北福祉大学 通信制大学院事務室 TEL. 022-292-8011

| 出 願 期 間 | |
|---------|-----------------------------|
| I 期 | 2022年10月17日(月)～11月22日(火) 必着 |
| II 期 | 2023年 1月16日(月)～ 2月16日(木) 必着 |

受験票到着

出願書類受付・確認後、**受験票**を発送いたします。

入学試験受験

筆記試験および面接試験は、下記の日程で行います。選抜方法や入学試験については、P.21をご参照ください。

| 受 験 日 時 | |
|---------|----------------------------------|
| I 期 | 2022年12月3日(土) 午前10時より(午前9時30分集合) |
| II 期 | 2023年 3月4日(土) 午前10時より(午前9時30分集合) |

合格通知書・ 学費納入依頼書 到着

本人宛の**合格通知書**を送付します。掲示による発表は行いません。合格の場合、「**誓約書・在学保証書**」を同封します。別便で**学費の納入依頼書**をお送りします(郵便局払い)。

| 合 格 発 表 | |
|---------|----------------|
| I 期 | 2022年12月13日(火) |
| II 期 | 2023年 3月 9日(木) |

※ 合格者発表に関する電話等での問い合わせには一切応じられません。

入学手続き

合格した方は、①**学費納入**、②「**誓約書・在学保証書**」提出をしてください。
下記の期間内に手続きが完了しない場合は、入学を辞退したものとします。

| 入 学 手 続 期 間 | |
|-------------|------------------------------|
| I 期 | 2022年12月13日(火)～2023年1月12日(木) |
| II 期 | 2023年 3月 9日(木)～2023年3月23日(木) |

【学費納入後の入学辞退について】

通信制大学院事務室に電話で連絡した後、下記の(1)を行ってください。

- (1) 入学辞退届(様式自由)の提出(受験番号・本人自筆の署名・捺印・辞退理由を記入)。2023年3月31日までに当事務室に郵送で提出。
- (2) (1)提出後、当事務室から返金手続きに必要な書類を送付。
- (3) 必要書類が到着した後、**入学金**および**振込手数料**を除いた諸納金を返還。

入学許可書到着

①**学費納入**、②「**誓約書・在学保証書**」提出を確認次第、**入学許可通知書**をお送りします。

入 学

入学日は、4月上旬に行う**入学式**の挙行日になります。

入学式では、**オリエンテーション**や**ガイダンス**を行います(出席任意)。

※状況によりリモートで実施します。

出願書類一覧

| | 必要書類 | 留意事項 |
|----|---|---|
| 1 | 入学志願書[A] | (1) 指定用紙(本冊子巻末)を使用してください。※用紙はHPからダウンロード可能。 (2) 黒インクまたは黒ボールペンを使用し、自筆で記入してください。 (3) 氏名・生年月日は、住民票または外国人登録済証明書の記載どおりに記入してください(入学後も通称名を使用する場合は外国人登録済証明書の通称名を記入)。 ※志望専攻の変更は認められません。 ※職歴が書ききれない場合は別紙を用いてご提出ください。 |
| 2 | 入学志願書[B] | 入学志願書[A]の裏面になります。※用紙はHPからダウンロード可能。 |
| 3 | 普通為替証書 入学検定料 30,000 円 (本学卒業生等 15,000 円) | 入学検定料分の普通為替証書を郵便局で購入し、出願書類に同封してください。 ※現金でのお支払いは受付けておりません。 ※(本学卒業生等)に該当する方のうち、卒業生以外の方へは、該当者であることを証明する書類の提出を求める予定です。希望する方は、出願前に事務室へお問い合わせください。 |
| 4 | 写真 3 枚 (撮影 3 カ月以内) | (1) 入学志願書[A]に 1 枚貼付してください。他 2 枚は同封してください。 (2) 裏面に氏名を記入したうえで、貼付してください。 |
| 5 | 卒業(見込)証明書 | 出身大学発行で厳封したもの。※本学(通学・通信)の卒業生も同封。 |
| 6 | 成績証明書 | 出身大学発行で厳封したもの。※本学(通学・通信)の卒業生も同封。 |
| 7 | ①外国人登録済証明書 ②日本語能力を証明する書類 | 外国籍の場合に、①②両方提出してください。 ②は、日本学生支援機構が実施する日本留学試験の、「日本語」の成績が 200 点以上である事を証明する書類、もしくは、日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験において、N2(旧 2 級)以上に合格していることが証明できる書類を提出してください。 |
| 8 | 卒業論文の写し | 作成していない場合や準備できない場合は提出不要。 |
| 9 | 志望理由書 | (1) 指定用紙(本冊子巻末)を使用してください。※用紙はHPからダウンロード可能。 (2) 用紙をコピーまたはダウンロードして日本語 2,000 字程度で、自筆にて①志望動機②志望する専攻とその理由③入学後の目標と抱負等をご記入ください。 |
| 10 | 研究計画書 | (1) 指定用紙(本冊子巻末)を使用してください。※用紙はHPからダウンロード可能。 (2) 用紙をコピーまたはダウンロードして日本語 4,000 字程度で、自筆にてご記入ください。 (3) 以下①～③を基本に社会人の立場を生かしてまとめてください。 ①研究テーマ:研究テーマとして何をとりあげるか、どのような点を問題にしたいのか。 ②研究の目的:研究の意義・目的は、どのような点にあるか、どのような点に研究の独自性があるか。 ③研究の構想・計画:2年間で研究をどのような方法・手順で進めていくか、どこまで明らかにするのか。 |
| 11 | 戸籍抄本 | 証明書が旧姓で発行される場合に提出してください。 |
| 12 | 障がい(疾病)にともなう受験(修学)配慮希望申請書 | (1) 受験者ご自身の疾病や障がいによる配慮を希望する場合に提出してください。 (2) 指定用紙(本冊子巻末)を使用してください。※用紙はHPからダウンロード可能。 (3) 「受験時」および「入学後」それぞれについて、配慮を必要とする事項を記入して提出してください。 (4) 疾病や障がいの状況を確認できる資料のコピーを添付してください。 例:障がい者手帳、診断書等。 |

※証明書は、いずれも原則発行後 6 カ月以内のものを提出してください。

※黒インクまたは黒ボールペンを使用し、ご記入ください。 ※受理した書類の返却および入学検定料の返金はいたしません。

※各種用紙のダウンロードは、本学通信教育部 HP (<https://www.tfu.ac.jp/tushin>) の「通信制大学院」から入り、「2023 年度募集要項出願書類用紙」を選択してください。

出願上の注意事項

- (1) 二重学籍は、認めておりません。
- (2) 国外に在住している方へ：送付物は日本国内の住所にお送りいたしますので、書面（様式自由）で日本国内のあて先住所をお知らせください（入学後も同様）。
- (3) ご入学後研究倫理eラーニングやオンライン授業があるため、パソコンをお持ちで、ご自身で操作ができる必要があります。またインターネットの環境も必要です。
- (4) インターネットを利用した動画配信型および同時双方向型（リモート）のオンライン授業があります。推奨環境などは、本学通信教育部・通信制大学院HPをご参照ください。

選抜方法

筆記試験（各専門科目、英語の出題はありません）、面接試験、出願書類（研究計画書等）を総合して行います。筆記試験の過去問題は、P.22～23をご参照ください。

入学試験

試験会場

東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス（〒983-8511 仙台市宮城野区榴岡2-5-26）
※詳細は、当日の掲示でご案内します。

試験日時・時間割

- I期 2022年12月3日（土） 午前10時より（午前9時30分正面玄関前集合）
II期 2023年 3月4日（土） 午前10時より（午前9時30分正面玄関前集合）

| 時 間 | 内 容 | |
|--------------|--------------------------|-----------------|
| 午前9時45分～ | 入室・説明 | |
| 午前10時～11時30分 | 社会福祉学専攻 | 社会福祉学・社会福祉学関連科目 |
| | 福祉心理学専攻 | 心理学・心理学関連科目 |
| 午後12時30分～ | 面 接 ※受験番号順に一人当たり20～30分程度 | |

受験上の注意事項

- (1) 受験票を必ず持参してください。紛失あるいは忘れた場合は、通信制大学院事務室または試験会場入室時に係員に申し出てください。
- (2) やむを得ない事情による遅刻は、集合時間（午前9時30分）後20分までは受験を認めますが、試験時間の延長はできません。
- (3) その他、試験会場では試験監督者の指示に従ってください。
- (4) 駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。
- (5) 新型コロナウイルスの感染防止のため、事前の検温やマスク着用など入構における留意点について、受験票に同封してお知らせします。ご協力をお願いいたします。

入学試験 過去問題

社会福祉学専攻

2022 年度の試験問題になります。必修問題 1 問と、選択問題（3 問中 2 問選択解答）が出題されました。

【必修問題】

- (1) 日本社会福祉士会の倫理綱領にも「原則」のひとつとして示されている「多様性の尊重」について、説明しなさい。
- (2) 社会福祉資源配分に影響を及ぼす、「自助、(互助)、共助、公助」という枠組みについて、問題点を指摘しなさい。

【選択問題】

- (1) 地域福祉におけるソーシャル・キャピタル（社会関係資本）の意義を述べよ。
- (2) 社会福祉援助（ソーシャルワーク）における「権利擁護」の理念と、その実践上の課題について、貴方の考えを述べなさい。
- (3) 地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律（令和 2 年法律第 52 号）のなかでは、市町村における包括的で重層的な相談支援体制づくりが求められている。これらの相談支援体制を構築する際の課題とソーシャルワーカーの役割について述べよ。
- (4) 人口動態（少子化、高齢化、人口減少）が地域福祉に与える影響を述べなさい。
- (5) 社会福祉援助（ソーシャルワーク）における「利用者主体」の理念と実践上の課題について、貴方の考えを述べなさい。
- (6) 内閣府男女共同参画局の「コロナ下の女性への影響について（令和 3 年 9 月）」によれば、令和 2 年度の DV 被害にあった女性は、前年比の約 1.2 倍、また女性の自殺人数も前年比で 900 人以上増加している。さらに、労働においても女性の就業者数の減少や非労働人口の増加幅の大きさなどが散見される。このような現状をふまえ、コロナ下における女性に対してどのような支援やサービス、制度が必要か、あなたの考えを述べなさい。

福祉心理学専攻

2022年度の試験問題になります。3問中2問選択し解答する選択式で出題されました。

- (1) 社会的動物とも称される人間の社会性の発達について論じなさい。
- (2) いわゆる「スマホ育児」が、親と子どもに与える影響について研究したい。
 - ①親、子どもそれぞれにどのような影響があるかを予測し仮説を立てなさい。
 - ②実際にそれを検証するために、どのような研究計画が考えられるか、独立変数と従属変数を明確にしながら論じなさい。
- (3) 現代の日本の、非正規雇用等の就労形態や結婚・育児の現状と、エリクソンが唱えたアイデンティティの確立との関係について、関係がある、関係がない、のどちらかの立場に立ち、その理由とともに論じなさい。
- (4) アタッチメントに関して、次の設問1・2について答えなさい。

〈設問1〉
乳幼児の発達におけるアタッチメントの意義について論じなさい。

〈設問2〉
アタッチメントの個人差をもたらす要因としてどのような事柄が考えられるか、論じなさい。
- (5) コロナ感染症対策のために小学校の休校が長期化したり学校行事が中止になったりした場合に、小学生のストレスの強さはどのような要因によって影響を受ける可能性があるか、考えられる要因を理由とともにいくつか挙げなさい。

さらにその要因のうち、心理的な要因一つを選び独立変数として扱い、質問紙法によって検証するための研究計画と、どのようにデータを分析するかについて具体的計画を立てなさい。

なお、質問紙について言及する際、実際に存在する具体的な心理尺度名は不要であり、例えば「家庭生活におけるストレス尺度」のように、測定する心理的特徴を表現しているような尺度名を考えて記述してよい。また、具体的な質問項目の記述までは必要ないものとする。
- (6) 「幼稚園や保育園で他の子どもに攻撃的な言動をする4～6歳児」あるいは「高齢者施設において他の利用者に攻撃的な言動をする高齢者」のいずれかを想定し、その攻撃性を生じさせていると考えられる要因について論述しなさい。さらに、その攻撃的な言動を軽減させるためにどのような心理的支援計画が考えられるかを記述しなさい。

3つのポリシー（専攻別）

社会福祉学専攻

教育研究上の目的

本専攻は、本学の建学の精神である「行学一如」を基盤とし、「自利・利他円満」を教育の理念として、社会科学と人間科学などに関する学術の理論とその応用を研究する方法を教授し、共生社会の実現と人類の福祉に寄与しうる人材を養成することを目的としています。

教育目標

修士課程においては、社会福祉とその実践に関する科学的視点と高度な専門性を有する実践的研究者、または研究的実践家の養成を目的としています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

すべての人がよりよく生きること（well-being）を可能にする共生社会の実現に寄与したいという熱意を持ち、社会福祉学の知識・実践技術を高めるために研究する力、実践する力を身につけたいという、以下のような人の入学を希望します。

1. 求める学生像

主たる対象を社会人として、通信教育の学修方法を理解し、下記に合致した方の入学を期待しています。

(1) 実学の視点をもった社会福祉実践向上への目的意識

現代の社会福祉の事象に関心を持ち、その問題を科学的に解決し、社会福祉実践の質を高めようとするものの高い目的意識を持つ人。

(2) 実学研究を遂行する能力

実践と一体を成す実学研究をおこなうための、社会福祉学とその近接領域の学問に関する基礎知識と総合的な学力を有する人。

(3) 学際的な視点

社会福祉実践に必要な近接する学問領域との連携をおこなうための広い視野と柔軟かつ論理的な思考をもつ人。

(4) 自己研鑽

実学研究をとおして、自らの専門性を向上させようとし、生涯にわたる自己研鑽を求める人。

(5) 国際的視点

世界の社会福祉的な事象に関心を持ち、その課題の分析、解決に取り組もうとする人。

2. 入学前に培うことを求める力

(1) 研究と実践を進めるために必要な知識・技法と論理的思考、判断力を培うことを求めます。

(2) 合理的、論理的思考力、判断力そして表現力等を培うことを求めます。

3. 評価の方法

「求める学生像」に適い、「入学前に培うことを求める力」を備えている人材かどうかをみるために、次の評価の方法を用います。

(1) 出願書類、口述試問、筆記試験等により、総合的に評価します。

- (2) 特別な支援を必要とする者については、すべての入試について「受験（修学）配慮希望申請書」の提出により入試に支障なく取り組むことができるように、配慮を行います。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 教育課程編成の方針

共生社会の実現と人類の福祉へ貢献する人材の養成という本研究科の教育研究上の目的の下、現代社会の福祉的課題、および実践的課題を科学的に分析し、それらを解決する能力を身につけるために教育課程を編成しています。

2. 教育課程の構成

- (1) 実学としての社会福祉学理論、実践理論を認識するための科目を設置する。
- (2) 社会問題と人々の生活ニーズの解決に必要な近接領域との連携、協働を考えるための科目を設置する。
- (3) それらを実践するために必要な研究方法に関する科目を設置する。

3. 学修方法・学修過程

社会福祉の理論、制度・政策、実践についての知識の習得を基礎に、応用領域では、現代社会の福祉問題の解決に取り組める研究および実践的な力量の修得をめざします。また、法令により認められた「印刷教材による授業」を取り入れ、主として社会人である院生が学修しやすい環境を整えています。

(1) 印刷教材、および一部動画配信によるオンデマンド教材による授業

教科書、参考文献、および一部動画配信によるオンデマンド教材と、「在宅学習のポイント」に基づいて進める学修方法です。学んだ成果を確認するために、定められた課題についてのレポートを提出します。レポートは担当教員により添削指導が行われ、自身の理解の度合いを把握し、さらなる研究につなげることが可能です。

(2) 面接授業（スクーリング）

演習科目では教員と直接対面して授業を受ける面接授業（通学対面のほか、オンラインによる同時双方向授業を含みます）が必須となります。また講義科目でも可能なかぎり週末や長期休暇期間中等の集中講義によって、面接授業を位置づけます。院生間、院生と教員間でディスカッションをし、課題の理解や課題解決力を深めていきます。

(3) 研究指導・修士論文指導

実証的、論理的な研究を進め、質の高い修士論文を完成するため、院生1名につき指導教員を定め、テーマの選定や実証方法・分析方法の選択、論文構成や内容などに関して、綿密な指導を行います。修士論文執筆の過程では、面接指導、通信指導それぞれについて必須条件を定めています。計画的に論文作成を進めるため、中間レジュメの作成や報告会などを設けています。

(4) 研究倫理教育

レポート、修士論文作成における著作権の保護や、調査研究における個人情報の保護など、研究倫理教育をおこなっています。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位の授与に関する方針）

1. 学生が身に付けるべき資質・能力の目標

本課程の修了生は、社会福祉実践の向上に寄与するために、社会福祉実践と社会福祉理論を科学的に追求し、また近接する領域との連携や協働のあり方を科学的に追求する能力を持った実践家および実践的研究者として、以下の能力を身につけています。

- (1) 社会福祉学全般の基礎的素養と社会福祉実践に関する専門的知識・技法を習得している。

- (2) 社会福祉学に関する研究課題を自ら設定し、専門的知識や技法、社会福祉学の研究方法を用いて実践的な研究、研究的な実践をおこなうことができる。
- (3) 社会情勢の変化や、現代社会からの要請に対して、多次元に渡る広い視点を持って対応することができる。
- (4) 社会福祉学の価値、知識、技術を基盤に、社会福祉学研究と社会福祉実践を統合することができる。
- (5) 近接する領域との連携や協働のあり方を科学的に追求する能力を持った実践的研究者および研究的実践家としての能力を身につけている。

2. 学位授与の要件

修士課程の所定の科目を履修し、研究指導を受けたうえで、社会福祉に関連する学問分野の諸問題を解決するための研究力や実践力を修得したと評価するに値する成果（修士論文）を提出し、最終試験に合格した人に修士（社会福祉学）の学位を授与します。

福祉心理学専攻

教育研究上の目的

福祉心理学を基礎として、心理学に関する基礎的な素養を身につけ、広義の社会福祉に寄与する人材養成、すなわち人間が社会生活を営む中で直面する諸課題に対して科学的に追求しその解決に取り組むことができるよう援助する人材の育成を目指しています。修了後は、発達領域、教育領域、司法領域、産業領域での福祉に寄与する高度の専門家となることを目標としています。

教育目標

本専攻は、本学の建学の精神である「行学一如」を基盤とし、心理学に関する高度な知識と技術を学び、個人から社会の広義の福祉に幅広い心理学的知見を持ち、心理的援助・実践ができる人材育成を目指しています。

アドミッション・ポリシー（入学受入れの方針）

1. 求める学生像

- (1) 一人ひとりの人権や尊厳を重んずる人間理解を基に福祉心理学専攻の専門領域に強い関心を持ち、これらの領域において研究、実践を行う明確な意志を持っている方。
- (2) 心理学の専門的知識・技法を偏りなく幅広く修得する意欲のある方。
- (3) 合理的、論理的な思考力、判断力、表現力などの能力のある方。
- (4) 主体性を持ちながら多様な人々と協働して研究と実践ができる方。なお、主たる対象を社会人として通信教育の学修方法を理解し、上記に合致した方の入学を期待しています。

2. 入学前に培うことを求める力

- (1) 福祉心理学専攻の研究と実践を進めるために必要な知識・技法と論理的思考、判断力を培うことを求めます。
- (2) 合理的、論理的思考力、判断力そして表現力等を培うことを求めます。
- (3) 人間関係において主体性を持ちながら他者を尊重し、共感性を持って接し、協働できる力を培うことを求めます。

3. 評価方法

- (1) 上記の人材を選抜するために、入学試験を実施します。志望理由書と研究計画書などの書類の提出を求め、上記 2. の項目 (1) ~ (2) を評価します。専門科目についての筆記試験を行い、上記 2. の項目 (1) を評価します。口述試験を行い、上記 2. の項目 (3) を評価します。

- (2) 特別な支援を必要とする方については、「受験（修学）配慮希望申請書」の提出により入試に支障なく取り組むことができるように、配慮します。

4. 入学前に学習することを期待される内容

- (1) 心理学に関するそれぞれの研究対象領域の基礎的知識と今後の研究を進めていく上で必要な心理学研究法、心理学統計法を学修しておくことを期待します。
- (2) 学際的な知識の修得のために必要な基礎的英語能力を学修しておくことを期待します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 教育課程編成

現代社会が複雑化していく中で、個人が自由に円滑な日常生活を送ることが難しくなっており、社会・労働組織もストレスフルな状況に陥る傾向にあります。このような現実、福祉心理学を基礎として個人および社会の広義の福祉を実現するため福祉心理学的知見を活用し、こころの健康の回復、維持、促進する専門家を養成すべく、人間が置かれている心理的状況や環境に応じて、心理学的アプローチを図る力を身に付けるための科目編成をしています。

2. 学修方法・学修過程

法令により認められた「印刷教材による授業」を取り入れ、主として社会人である大学院生が学修しやすい環境を整えています。

(1) 印刷教材による授業

科目により指定された教科書を配本し、それを『科目別ガイドブック』に記載された「在宅学習のポイント」に基づいて読んでいく学修方法です。参考文献での学びも推奨されます。学んだ成果を確認するために、『科目別ガイドブック』に記載された課題についてのレポートを提出することが必要です。レポート作成の過程を通じて、深い専門性、思考力や根拠に基づく情報発信力を身に付けることができます。レポートは担当教員により添削指導が行われ学生に返却されますので、自身の理解の度合いを把握し、さらなる研究につなげることが可能です。

(2) 面接授業（スクーリング）

演習科目では教員と直接対面して授業を受ける面接授業が必須となります。院生間、院生と教員間でディスカッションをし、課題の理解を深めていきます。研究法について学ぶ講義科目でも面接授業が必須となります。大学院レベルで求められる心理学の研究手法の技能を修得します。

(3) 研究指導・修士論文指導

実証的、論理的な研究を進め、質の高い修士論文を完成するため、院生1名につき指導教員を定め、テーマの選定や実証方法・分析方法の選択、論文構成や内容などに関して、綿密な指導を行います。修士論文執筆の過程では、最低限面接指導3回以上、通信指導2回以上を必須としています。進捗状況を確認するための「中間レジュメ」は、院生同士で共有され、相互に刺激を受けることを可能にしています。

(4) 研究倫理教育

レポート、修士論文作成に関して、守秘義務や個人情報の保護などの重要性を指導しています。また、引用文献・参考文献の明示を行い、剽窃のないように作成することを指導しています。調査に関しては、個人情報の保護、個人を特定できないこと、調査を拒否できる権利があることなどを対象者に理解しやすく、説明できるインフォームド・コンセント能力を高めるように指導しています。日本学術振興会の「研究倫理eラーニングコース」などにより研究倫理の基本を学修します。

3. 学修成果の評価のあり方

教員と学生自身によって評価されます。教員による評価では、受け身の学修でなく、自らレポート課題、研究課題を設定し、主体的に課題解決に取り組むことを求めています。課題選択のレベル、成果までの過程の分析や結果について、合理的、実証的にまとめているかを評価しています。学生による評価は、学位授与の方針の達成度を自身で確認します。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位の授与に関する方針）

1. 学生が身に付けるべき資質・能力の目標

- (1) 応用心理学全般の基礎的素養と発達心理学および臨床心理学に関する専門的知識・技法を修得している。
- (2) 心理学に関する研究課題を自ら設定し、専門的知識や技法を用いて、心理学研究法の方法を使い研究をすることができる。
- (3) 社会や各種職域の変化や要請に対して福祉・心理・社会の多次元に渡る広い視点を持って対応することができる。
- (4) 心理学の専門的知識、心理学的実践活動、そして心理学研究の3領域を互換的に総合することができる。
- (5) こころの健康の援助、家族関係の援助、社会福祉の援助、発達援助、地域活動の援助、災害・被害への援助、心理的・社会的適応の支援などを実践できる。

2. 学位授与の要件

教育目標を理解し、必修科目および修士論文を含む30単位以上を修得すること。

「研究指導」「特別研究」授業概要（予定）

下記の科目は、修士論文作成のための科目になります。研究に関する科目以外の授業概要（2022年度）は、東北福祉大学通信教育部・通信制大学院 HP（<https://www.tfu.ac.jp/tushin>）でご覧いただけます。「通信制大学院」をクリックし「科目別ガイドブック」を選択してください。

社会福祉学専攻

社会福祉学研究演習Ⅱ（社会福祉原論） 田中治和先生

自らの研究課題（主として社会福祉学の基本問題—原理、思想及び理論、高齢者福祉実践の基礎研究等）を、学術論文の作法に基づいて、修士論文を作成する。

次の項目を内容とする。

- 1) 研究課題について話し合う。
- 2) 論題の仮説設定を行う。
- 3) 先行研究の探索と蒐集の方法について助言・指導等を行う。
- 4) 研究倫理について指導する。
- 5) 構想（中間）発表を行い、助言・指導等を行う。
- 6) 必要に応じて、適宜論文指導を行う。
- 7) 構想（最終）発表を行い、助言・指導等を行う。
- 8) 修士論文完成を目指して、助言・指導等を行う。

社会福祉学研究演習Ⅱ（ソーシャルワーク） 田中 尚先生

修士論文を作成するための研究方法、論文作成能力を涵養することを目的とする。

研究の対象領域は、わが国の社会福祉全般におけるソーシャルワーク実践とその理論である。ソーシャルワークの視点を踏まえて、実践事例からの研究テーマの選択、研究仮説の構築、先行研究のレビューを行い、研究倫理、調査研究の方法、修士論文の執筆方法を理解したうえで、修士論文の作成を行う。

社会福祉学研究演習Ⅱ（生活困窮者支援と貧困研究） 阿部裕二先生

研究方法の明確化と論文作成能力を高める。

次の項目を内容とする。なお、指導分野は社会保障の領域、例えば「年金」「医療」「生活保護」等である。

- 1) 個別研究指導を踏まえて、各自の研究テーマに沿った修士論文の作成を指導する。
- 2) 論点の絞り込み、関連資料の利用方法、論文の構成等修士論文作成に関して指導する。
- 3) 面接指導及び通信指導を通じて研究の促進に役立つ指導を行う。

社会福祉学研究演習Ⅱ（地域福祉） 高橋誠一先生

先行研究を調べ、研究方法を明確にした上で、各自の研究テーマに沿った修士論文を作成し、論理的思考を身につける。

次の項目を内容とする。

- 1) 自分の関心に沿った研究テーマを設定する方法を学ぶ。
- 2) 研究方法と研究倫理について学ぶ。
- 3) 文献を理解しデータの収集分析方法を学ぶ。
- 4) 調査、研究計画策定方法を学ぶ。
- 5) 分析に基づいた論文作成を学ぶ。
- 6) 研究成果の発表方法を学ぶ。

社会福祉学研究演習Ⅱ（子ども・家庭と女性福祉研究） 竹之内章代先生

修士論文を作成するための研究方法や論文作成能力を獲得することができる。
対象となる研究分野は、「子ども」「子ども家庭」「女性」を中心とした子ども家庭福祉の領域である。
社会福祉の研究としての視座とは何かを踏まえ、自らの研究テーマの抽出、先行研究のレビュー、論文執筆の形式の理解、研究方法の理解をした上で、修士論文を作成する。

社会福祉学研究演習Ⅱ（高齢者福祉） 石附 敬先生

高齢者福祉について先行研究の知見を踏まえた上で、各自の研究テーマに基づく論文を作成する。
次の項目を内容とする。

- 1) 各自の関心から研究テーマを設定する。
- 2) 研究の進め方及び研究倫理について指導する。
- 3) 国内外の文献収集の方法について指導する。
- 4) 先行研究のレビューの方法及びまとめ方について指導する。
- 5) 研究テーマに応じた、研究方法の選択について支援する。
- 6) 研究成果をプレゼンテーション及び論文にまとめる支援をする。

社会福祉学研究演習Ⅱ（障害者福祉） 三浦 剛先生

修士論文を確実に執筆するための必須の知識と方法を身につける。
次の項目を内容とする。

- 1) ソーシャルワーク研究の視座について
- 2) 論文作成の基礎
- 3) 統計的方法の意味と基礎
- 4) 事例研究の方法
- 5) 社会福祉調査の方法
- 6) 「現場」における実験的研究の方法
- 7) 個別論文指導

社会福祉学研究演習Ⅱ（精神保健福祉） 大島 巖先生

修士論文研究を遂行するのに必要な、基礎的な知識と方法を習得し、質の高い論文を作成する。

- 1) 社会的意義のある適切なリサーチクエスト（RQ）を設定できるように、先行研究の検討や関係者へのヒヤリング、ワークショップの実施方法などを示す。
- 2) RQの回答に必要な科学的で実施可能な研究方法の選択を行い、適切な研究計画を設計する方法を提示する。
- 3) 研究計画書に示された研究方法を適切に実施し、得られた研究結果を正しく分析する方法を提示する。
- 4) 科学的・論理的な論文執筆方法を示し、論文執筆の指導を行う。

社会福祉学研究演習Ⅱ（認知症ケア） 加藤伸司先生

高齢期にみられる心理学的課題や認知症に関連した様々な社会福祉学的課題、心理学的課題を抽出し、研究の視点でまとめていくことを目的とする。

高齢者心理、高齢者福祉、認知症に関するテーマについて研究指導を行う。テーマ選定については、担当教員のアドバイスを受け、目的、方法論を明確に定めていく。実際の研究にあたっては、担当教員とのディスカッションを繰り返しながら論文をまとめていく。

福祉心理学専攻

福祉心理学特別研究（発達心理学） 平川昌宏先生

現在の社会的状況や発達心理学のこれまでの知見をふまえ人々の発達やその支援に関する研究課題を設定し、心理学研究法を用いてその研究課題について検討を行う。さらに検討結果について、心理学的実践活動という観点から考察を行う。

これまでの学びや経験を通して各自が持っている発達やその支援に関する興味・関心を心理学の俎上に乗せ、その方法論に則って深めていく。教員の助言を受けながら、テーマを決め、文献を調べ、仮説を立て、調査を計画・実施し、結果を分析し、論文を作成する。

【事前に受講してほしい科目】 心理的な理論と支援（発達心理学）、心理的な支援と応用演習（発達心理学）

福祉心理学特別研究（学校・教育心理学） 中村恵子先生

福祉心理学（特に学校・教育心理学）に関する研究課題を設定し、目的に即した研究方法を選択して論文を作成する。

手法としての研究を学び、自ら設定した問いに対する回答を導き、研究過程では、論理性、客観性、再現性および要素性の観点から検討を加え、心理学的な研究とは何かを学んでいく。

一連の研究過程を通して、論理性と客観性を身に着けることを目的とする。

【事前に受講してほしい科目】 心理的な理論と支援（学校・教育心理学）、心理的な支援と応用演習（学校・教育心理学）

福祉心理学特別研究（社会心理学） 吉田綾乃先生

社会心理学の基礎・応用知識および社会心理学の研究手法に関する知識を修得することを目的とする。

広く社会心理学に関連するテーマを各自が設定し、そのテーマに沿って実験あるいは調査研究を行う。研究の実践を通して、社会心理学の基礎・応用知識を習得することを目指す。また、個人的・社会的な問題に対して社会心理学の研究手法法を用いて検討するスキルを身に着けることを目指す。

【事前に受講してほしい科目】 心理的な理論と支援（社会心理学）、心理的な支援と応用演習（社会心理学）

福祉心理学特別研究（臨床心理学） 武村尊生先生

福祉心理学のうち、特に臨床心理学の分野における課題を見つけ出し、研究目的に合った手法を活用して研究を行い、論文を作成する。

福祉心理学の論文の特徴を理解できるようになることを目標とする。論文の構成、変数の取り扱い方、統計的分析手法が適切に選択できるように学習を進め、調査のための実施計画を立案し、実際に調査を行い結果の分析と考察を行う。論文の完成がゴールではなく、これら研究から得られた知見を、心理学的支援の場面で応用し、社会に貢献することが重要である。

【事前に受講してほしい科目】 心理的な理論と支援（臨床心理学）、心理的な支援と応用演習（臨床心理学）

福祉心理学特別研究（健康心理学） 中村 修先生

健康心理学に関する研究課題を自ら設定し、心理学研究法を用いて研究を行い、論文にまとめる。

これまで学んできたことを用いて、研究を行えるようになることを目的とする。自らの疑問を仮説検証型の研究スタイルにのっとった形に特定化し、それに見合った方法を選んでいくことが求められる。頭の中にある考えを形にする、形にしたものを実行する、実行したものをまとめて次の課題へとつながる、といったことは研究に限ったことではないが、「心理学」「研究」という縛りのある中で主体的に取り組んでいく。

【事前に受講してほしい科目】 心理的な理論と支援（健康心理学）、心理的な支援と応用演習（健康心理学）

福祉心理学特別研究（司法・犯罪心理学） 半澤利一先生

福祉心理学のうち、特に司法・犯罪心理学やその関連領域における課題を見つけ出し、研究目的に合った手法を使って研究し、論文を作成する。

これまでに積み重ねてきたさまざまな心理学的な知見や方法を踏まえ、新たに見出したテーマや自分で確認したい課題についてよく考え、研究の目的や構成変数を絞り込むことで、研究というものがどういうものを深く理解する。その上でさまざまな文献を調べて研究計画を立てて仮説を設定し、調査を行って結果の分析と考察を行っていく。これら一連の活動を通して自分の思考がより深まり、人々に何らかの知見をもたらす研究成果を作り上げていくことを目的とする。

【事前に受講してほしい科目】 心理的な理論と支援（司法・犯罪心理学）、心理的な支援と応用演習（司法・犯罪心理学）

福祉心理学特別研究（高齢者心理学） 加藤伸司先生

高齢期にみられる心理学的課題や認知症に関連した様々な心理学的課題、社会福祉学的課題を抽出し、研究の視点でまとめていくことを目的とする。

高齢者心理、高齢者福祉、認知症に関するテーマに関する研究指導を行う。テーマ選定については、担当教員のアドバイスを受け、目的、方法論を明確に定めていく。実際の研究にあたっては、担当教員とのディスカッションを繰り返しながら論文をまとめていく。

【事前に受講してほしい科目】 心理的な理論と支援（高齢者心理学）、心理的な支援と応用演習（高齢者心理学）

通信制大学院科目等履修生

※学習方法等詳細は10月中に、シラバスは12月中に、本学大学院ホームページに掲載いたします。

通信制大学院科目等履修生とは

2023年度より、本学通信制大学院で科目等履修生の募集を始めることになりました。

科目等履修生となり単位を修得した科目については、のちに本学大学院の社会福祉学専攻にご入学された場合に、単位の認定を予定しております。この単位認定は、課程を修了すために必要な単位数が減り、在学中の学修時間を短くすることができるメリットがあり、修士論文の作成により多くの時間を費やすことができます。

本学の大学院「公開講座」*や「実学臨床研究セミナー」*などについても、科目等履修生として受講した場合、本学大学院の社会福祉学専攻に入学後、修了単位として読み替える予定です。

※一部演習(1日)などを除き、オンラインでの受講が可能です。

また、認定社会福祉士研修の科目を複数準備する予定ですが、科目等履修生として認定社会福祉士研修の科目の単位を修得した後、本学通信制大学院の社会福祉学専攻にご入学をした場合には認定社会福祉士認証・認定機構の「大学院ルート」により認定社会福祉士を目指すことが可能となります。

詳細については

10月中に本学大学院ホームページに掲載いたします。

在学期間、諸経費、授業科目や、対象となる公開講座、実学臨床研究セミナーなどに加えて、募集人員、出願、選考の方法などについても、お知らせいたします。

東北福祉大学の個人情報保護に関する基本方針(抄)

東北福祉大学は、個人情報保護の重要性を深く認識し、以下の方針に基づき、個人情報保護法（平成15年法律第59号）を適正かつ確実に執行し、もって本学の保有する個人情報の保護に努めます。

1. 個人情報の取得について

本学は、適法かつ公正な手段によって、個人情報を取得します。

2. 個人情報の利用および提供について

- 1) 本学は、個人情報の利用目的をできる限り特定し、機関誌やホームページ等で公表します。
- 2) 本学は、法令に基づく場合や事前に本人の同意を得た場合を除き、利用目的以外の目的のために個人情報を利用し、または第三者に提供することはしません。
- 3) 本学は、個人情報の取り扱いを業務委託する場合には、他に漏えいしないよう適正な監督を実施します。

3. 個人情報の管理について

- 1) 本学は、個人情報の紛失、改ざんおよび漏えい等を防止するため、不正アクセス、コンピュータウイルス等に対する適切なセキュリティ対策を講じます。
- 2) 本学は、個人情報の正確性を保ちます。

4. 利用目的通知・開示・訂正・利用停止について

本学は、個人情報主体が自己の個人情報について、利用目的通知、開示、訂正および利用停止を求める権利を有していることを確認し、これらの請求がある場合には、迅速かつ適切に対応します。

5. 組織・体制

- 1) 本学は、個人情報管理責任者と個人情報管理者を置き、教職員その他の事業者に対し、個人情報の適切な取り扱いに関し必要とされる教育、研修等を実施します。
- 2) 本学は、個人情報保護委員会を設け、個人情報の取り扱いに関する重要事項を審議し、また、開示等の請求に対する不服申立てについて適切に対応します。

6. 本方針の実施・改善等

本学はこの方針を実施するための個人情報保護規程等を定め、教職員その他の従業者に周知徹底させます。また、改善すべき点があれば、今後とも適切に対応していきます。

7. 個人情報の問い合わせ窓口

本学の個人情報の取り扱いについてご不明な点やご質問がありましたら、本学総務局総務課までご連絡ください。内容等により、当該情報を所管する管理者に接続させていただきます。

東北福祉大学総務局総務課 TEL. 022-717-3311

募集要項請求時にお知らせいただいた個人情報の利用目的について

募集要項請求時にお知らせいただいた個人情報は、大学案内・募集要項の送付や入学説明会のご案内以外の目的に利用することは一切ありません。

出願時にお知らせいただいた個人情報の利用目的について

入学志願書に記載された皆様の個人情報は、入学選考や入学許可証・副教材等の発送、初年度納付金の請求等入学受付・許可業務に必要な範囲でのみ利用いたします。初年度納付金の請求にあたっては、一部の業務の外部委託を行っていますが、個人情報の管理については適正な監督を実施いたします。また、個人が特定できない統計的なデータとして、今後の本学の学生募集・教育活動の改善に利用させていただく場合があります。

入学許可後初年度納付金を納入され学生になられた皆様やその保証人の皆様の個人情報は、入学後の大学からのお知らせや学籍・成績管理、学習支援・相談、進路支援・相談、学納金請求、学割・証明書発行、学校行事参加時の緊急連絡等学生の教育と安全管理のために必要な範囲でのみ利用いたします。

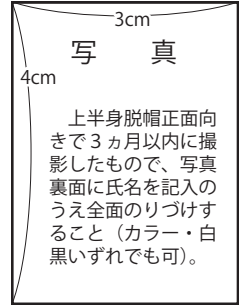
2023 年度 東北福祉大学

通信制大学院総合福祉学研究所 入学志願書A

受験
番号 ※

※記入しないでください

| | | | |
|---|-------------------------------|-----------------------|------------------------|
| 志望専攻 | 社会福祉学専攻・福祉心理学専攻 (志望する専攻を○で囲む) | | |
| ふりがな | | | 男・女 |
| 氏名 | | | |
| ローマ字 <small>※必ず記入</small> | | | |
| 生年月日 | 西暦 (昭和・平成) | 年 月 日生 (歳) | |
| 現住所 | 〒 - | | 電話 () - |
| | | | FAX () - |
| | | | 携帯 () - |
| E-mail アドレス | @ | | |
| 連絡先 <small>(現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入)</small> | 〒 - | | 電話 () - |
| 出願資格 | 国立・公立・私立 大学 学部 学科 専攻 | | 西暦 年 月 日 卒業・卒業見込・中退 |
| 履 歴 書 | | | |
| 学 歴 | 西暦 年 月 | 高等学校卒業 | |
| | 西暦 年 月 | 大学卒業 (見込)・中退 | |
| | 西暦 年 月 | 卒業 (見込)・中退 修了 (見込) | |
| 職 歴 | 西暦 年 月～ 年 月 | | |
| | 西暦 年 月～ 年 月 | | |
| | 西暦 年 月～ 年 月 | | |
| | 西暦 年 月～ 年 月 | | |
| 勤 務 先 | 名 称 | | 職 種 |
| | 住 所 | 〒 - | 勤 務 先 電 話 番 号 () - |



(切り取り線)

| | | | |
|----|-----|------|---|
| 氏名 | 現住所 | 都道府県 | 志望専攻(志望するものに○をつける) 社会福祉学専攻 ・ 福祉心理学専攻 |
|----|-----|------|---|

問1 (全員の方回答・必須) 入学の動機をお聞かせください(1つだけ選択)。
 1. 大学院修了資格取得 2. 職業上の資格取得 3. 職業上の知識・技術習得
 4. 本学で学びたい 5. 教養のため 6. 生涯学習・再学習のため
 7. その他 ()

問2 (全員の方回答・必須) 現在の職業について、下記の職業区分1・職種区分2の該当する記号・番号をそれぞれ1つ記入してください。職種区分2の中に該当するものがなければ、職業区分1の記号のみ記入してください(文部科学省調査用データ)。

| 職業区分1 | 職種区分2 |
|---|--------------------------------|
| A. 教員 | 1. 会社員 8. 学校職員 |
| B. 公務員 | 2. 教員 9. 住職・副住職 |
| C. 会社(商店)員 (社会福祉法人・医療法人・ 学校法人職員を含む) | 3. 福祉関係従事者 10. 自衛隊 |
| D. 個人営業・自由業 | 4. 看護師ほか医療関係従事者 11. 主婦・主夫 |
| E. 無職 | 5. 団体職員 12. 学生 |
| F. その他 | 6. パート・アルバイト 7. その他 () |

問3 (全員の方回答・必須) 大学(通信を含む)を卒業された年月で該当する番号を記入してください。個別入学資格審査等に該当する方は「4. その他」としてください。
 1. 2023年3月大学卒(見込) 2. 2022年3月大学卒
 3. 2021年3月以前大学卒 4. その他

問4 本学通信制大学院のことを最初に何でお知りになりましたか。(1つだけ選択)

- 新聞 1. 朝日新聞 2. 読売新聞 3. 河北新報 4. 北海道新聞 5. 岩手日報
 6. 東奥日報 7. 秋田魁新報 8. 山形新聞 9. 福島民報 10. 福祉新聞
 11. その他の新聞 ()
- 雑誌 20. 各種通信教育ガイド 21. 国家試験資格試験全書
 22. スタディサプリ通信制大学
 23. 通信教育の大学・短大・大学院案内 24. インターネット学習ガイド
 25. 逆引き大学辞典
 26. その他の雑誌 ()
- テレビ 30. 東北福祉大学紹介番組 31. その他のテレビ・ラジオ
- ホームページ 40. 本学ホームページ 41. 私立大学通信教育協会 42. 大学・大学院.net
 43. yahooなどの検索サイト 44. スタディサプリ社会人大学・大学院
 45. ランドマーク大学ガイド 46. 資格とるにはサイト
 47. その他 ()
- 知人の紹介 50. 本学通信教育部に在学生・卒業生 51. 本学通学課程に在学生・卒業生・教職員
 52. 上司・同僚 53. 家族・親族 54. 大学などの教員
 55. その他 ()
- 公共施設 60. 社会福祉協議会 61. 市民センター 62. 図書館 63. その他の施設
- その他 70. パンフレット 71. その他 ()

問5 入学説明会に来場されたことがありますか。
 1. 合同説明会(私立大学通信教育協会主催)に参加 2. 本学単独の説明会に参加 3. 参加していない

問6 入学案内はどのような方法で入手されましたか。(1つだけ選択)
 1. 電話・FAX 2. Eメール 3. 入学説明会会場 4. 社会福祉協議会・公共施設
 5. 大学 6. 本学窓口 7. 書面郵送 8. 本学ホームページ 9. 本学以外のwebサイト
 10. その他 ()

問7 本学通信制大学院を選んでいただいた理由をお聞かせください(いくつでも複数選択可)。
 1. カリキュラムや学べる内容に惹かれて 2. 学費が妥当なため
 3. スクーリング場所が自分に便利のため 4. 知人・友人・同僚にすすめられたため
 5. 東北福祉大学が好きだから 6. 教職員の対応に好感が持てたから
 7. その他 ()

2023年度入学説明会

Web上で事前のお申込みをお願いいたします。

東北福祉大学仙台駅東口キャンパスで行い、会場は当日館内にてご案内いたします。

通信課程単独（職員による個別対応）

| | |
|----------|-----------|
| 9/3（土） | 時間はWebで確認 |
| 10/1（土） | |
| 10/29（土） | |
| 12/11（日） | |
| 1/14（土） | |
| 1/29（日） | |

通学課程と合同（教員・在学生による全体説明）

| | |
|----------|-------------|
| 7/23（土） | 10:30～12:00 |
| 11/12（土） | |
| 1/21（土） | |

※受付は、9:30開始になります。

※大学院の担当教員及び在学生の話を聞くことができます。

※全体説明後、個別に相談を受け付けます。

入学説明会の参加お申し込みはこちらから



お問い合わせ

電話 022-292-8011

受付時間／平日 9:00～17:00 ※水曜日は電話対応を休止しております。

休業日／日曜日、祝日、12月28日～1月5日（年末年始一斉休暇）

FAX 022-292-8012

郵送 〒983-8511（本学専用郵便番号）

仙台市宮城野区榴岡 2-5-26 3階

東北福祉大学 通信制大学院事務室 宛

Email tsukyo@tfu.ac.jp

※現在、上記住所への入構を制限しております。最新情報については、本学通信教育部・通信制大学院HPをご参照ください。

※電話・FAX・Emailは通信教育部と共通になりますので、「通信制大学院事務室への問い合わせ」であることをはじめにお知らせください。